

## 平成29年度香川大学卒業式 学長告辞

本日ここに学士の学位を取得し、卒業式を迎えられた6学部、1,219名の卒業生の皆さんに、香川大学の教職員を代表して心からお祝いを申し上げます。また、今日のこの晴れの日に至るまでの長い年月を支えて来られたご家族の皆様方に敬意と感謝の意を表します。同窓会、後援会をはじめとした関係者の皆様には、ご多忙の中ご臨席賜り誠にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さん、香川大学での学生生活は堪能できましたでしょうか？

入学からしばらくは、高校時代とは違った環境に戸惑ったのではないのでしょうか。自宅を離れて生活を始めなければならない方も多かったことでしょう。自らが授業科目を選択しなければならなかったり、授業を受ける教室も毎回異なり、場合によってはキャンパス間を移動しなければならなかったり、ドキドキしながらの4月、5月だったのではなかったかと思います。

そんな皆さんが、知らず知らずのうちに大学生としての自覚が芽生え、多くのことを学び体験し、今、自信に満ちた顔でこの卒業式を迎えてくれていることを大変うれしく思います。

人間の財産にはお金や株、土地など形に見えるものと、知識や技能、友人との堅い絆など形に見えないものがあります。大学で学び生活するということは、形としては見えにくい後者の方の財産を蓄えることに意義があります。これを無形資産と呼びますが、皆さんはこれから社会に出て、大学生活で得られた様々な無形資産を元手として、人生を生き抜くためお金を稼ぎ有形資産を得ていくことになります。

それでは、大学を卒業したら無形資産は増やす必要はないのでしょうか？そんなことは決してありません。人工知能A Iが急速に我々の生活に浸透してきています。産業構造や人々の生活形態は短期間のうちに大きく変容することが予想されています。科学の進歩もスピードが益々加速しています。したがって、知識は常に update する必要があります。そういう点では一生学び続ける覚悟が必要です。

一方、皆さんは大学生活の中で、クラブ活動やフィールドワークなどを通して高校生の時には考えられないような人たちとのつながりを経験し、人間関係を築くことが出来たのではないのでしょうか。このいわゆる人的ネットワークも先ほど申し上げた形にならない無形資産になりますが、実社会に出ますとこの人的ネットワークは皆さんの人生の成功にとって大変大きな武器になります。香川大学で身につけたコミュニケーション力や他者と協働するスキルを応用して、どうか多方面に人的ネットワークを築いていってください。これもこれからが本番です。

さて、人の寿命は延び続けています。世界の先進国で 2007 年に生まれたこどもの約半分は 100 歳以上生きるとは推定が最近出されました。ここに卒業式を迎えた皆さんの多くが 90 歳以上の人生を歩むということになります。少子高齢化が進む我が国においては、高齢者が如何に元気で社会に貢献しながら生活できるかに国の命運がかかっていると云っても過言ではありません。皆さんが香川大学での 4 年間ないしは 6 年間で学んだ無形資産を食いつぶしていただくだけでは、これからの人生を乗り切れないのは明らかです。

ここで一つとても単純なメッセージを皆さんに送りたいと思います。それは「勉強することは常に得になる」とこと、「何かを学ぶことは選択肢を広げる」とことにつながる、ということです。香川大学は現在、様々な改革を進めていますが、これからも皆さんのような卒業生が再び学びたくなった時にいつでも迎え入れられるように大学を創り変えていく予定です。

卒業生の皆さん、皆さんの目の前に広がる人生において、勉強はまさにこれからが本番です。常に学ぶ姿勢を忘れないでください。そして、学び直したいと思ったらいつでも大学に戻って来ててください。我々はいつでも歓迎します。

昭和 24 年に発足した旧香川大学時代からの本学卒業生の総計は、本日

で54,471名になりました。皆さんが社会に出ますと、香川県のみならず、日本国内外で活躍する諸先輩に必ずや遭遇されることと思います。そのような時、同じ学び舎で過ごしたものにしか共有できない懐かしい感情が沸き上がることでしょう。

学長として、最後に一言申し添えます。皆さんの後に後輩たちが続いて来ていることをどうか自覚して、誇り高き人生を歩んでいただくとともに、母校に対する変わらぬ熱い支援をお願いします。

皆さんの前途に幸福と栄光がありますように祈っています。

本日はおめでとうございました。

平成30年3月24日

香川大学長 笥 善行